日本遺産認定記念 長門の造船歴史館 企画展

▲亀ヶ首発射場跡

亀ヶ首発射場と倉橋島

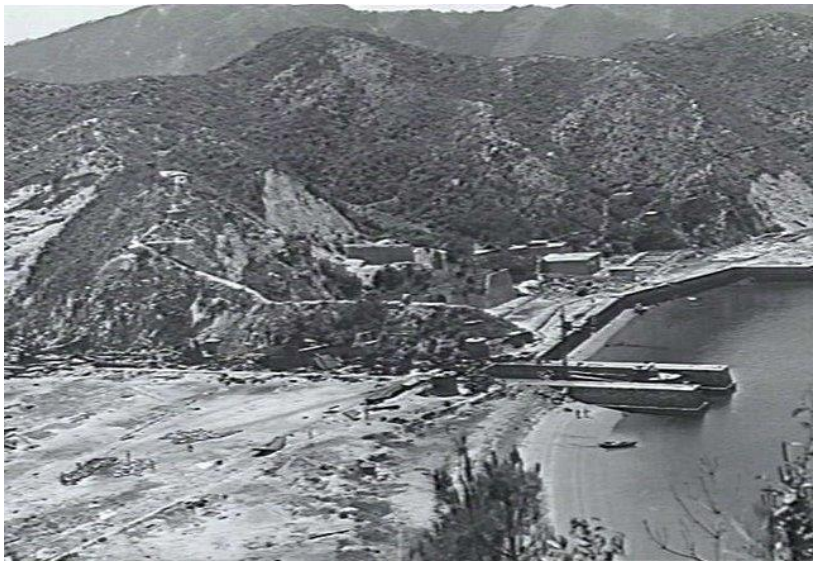
令和３年

１月８日（金）～３月２８日（日）

開館時間	9：00－17：00（入館は 16:30 まで）
休 館 日	毎週月曜日（祝日の場合は翌日）
料　　金	無料（常設展示入館料が必要です）
入 館 料	一般 200 円／高校生 120 円／小・中学生 80 円 ※呉市に在住し、または呉市内の学校に通学する高校生及び小・中学生並びに小学校未就学児は無料

長門の造船歴史館

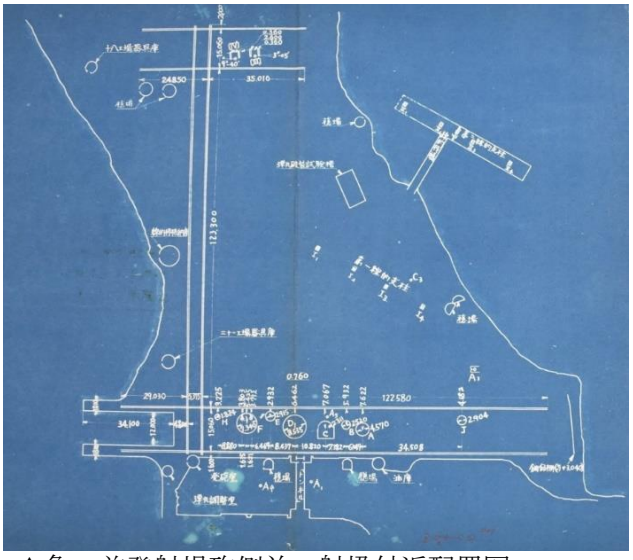
■住所：〒737-1377　広島県呉市倉橋町 171-7
■TEL：0823-53-0016
■アクセス
・バ　ス：JR 呉駅前バスターミナル 3 番乗り場、ひろでんバス「桂浜・温泉館」行き終点「桂浜・温泉館」で下車、徒歩 5 分。
・乗用車：呉駅から国道 487 号→県道 35 号→桂浜温泉館。
駐車場：約 150 台（無料。桂浜温泉館の駐車場をご利用ください）



▲戦後の亀ヶ首発射場（オーストラリア戦争記念館所蔵）

明治 33（1900）年、海軍は、倉橋島に大砲の発射試験場「亀ヶ首発射場」を整備しました。亀ヶ首発射場は、大口径砲を中心とする兵器の国内製造の実現に重要な役割を果たしており、大和型戦艦に搭載された 46 センチ砲の試験も同所で行われています。

令和 2 年 6 月、亀ヶ首発射場跡が日本遺産「鎮守府　横須賀・呉・佐世保・舞鶴～日本近代化の躍動を体感できるまち～」の構成文化財として追加認定されたことを受けて、亀ヶ首発射場と倉橋島に関する企画展を実施します。



▲亀ヶ首発射場砲側並ニ射垜付近配置図
（大和ミュージアム所蔵）

▲亀ヶ首発射場跡

日本遺産認定記念シンポジウム「亀ヶ首発射場と倉橋島」

■日時　令和 3 年 1 月 23 日（土）13 時 30 分～15 時 30 分（開場：13 時）

■会場　桂浜温泉館・なぎさホール（広島県呉市倉橋町 431）

■定員　150 名（参加費無料。事前申込み不要）

■第 1 部　研究報告
広島大学名誉教授 下向井 龍彦 氏「古代・中世の倉橋島と亀ヶ首」
広島会計学院専門学校校長 菅 信博 氏「地元倉橋から見た亀ヶ首発射場」
広島国際大学客員教授 千田 武志 氏「亀ヶ首が果たした二つの役割－46 センチ砲とエリート工員の誕生」

■第 2 部　パネルディスカッション「亀ヶ首発射場と倉橋島－歴史と活用－」
・司会
呉市海事歴史科学館館長 戸髙 一成 氏
・パネリスト
広島大学名誉教授 下向井 龍彦 氏
広島会計学院専門学校校長 菅 信博 氏
広島国際大学客員教授 千田 武志 氏
くらはし観光ボランティアガイドの会会長 柳井 敏弘 氏